

疑問詞を用いて記入していた。

〈While-reading 活動〉

• Story-mapping…作者はどのように問題を解決させたいか記入させた。

• Character-sheet…主人公の最後の様子を理解するため、Looks に焦点を当てて、読み取らせた。

〈Post-reading 活動〉

• KWL-sheet…検証授業 1 と同じ手順で実施した。検証授業 1 と比較して自ら発した疑問に全員が答えられた。予測した読み方が身についた。

(2) 考察

① Pre-reading 活動から……Word-

mappingとKWL-sheet の活用は、背景的知識をまとめ、推論、予測、期待感をもって、読む習慣を作るうえで有効であった。生徒は読む以前から、読解が始まることを実感したようだ。グループ活動により、スキーマの共有や補完のコミュニケーション活動が見られ、内容に関する仮説を形成することができたと考えられる。

② While-reading 活動から……Story-

map の記入により、本文全体に目を向けて、scanning (探し読み) ・skimming (走り読み) の習慣を身につけた。このtaskは物語を読むうえで欠くことのできない要素や事実関係を整理し、本文の概要を把握させる手段として有効であると考えられる。また、Character-sheetの活用は、関係のある事からの部分を注意深く読むintensive reading (精密読み) に発展した。読解の理解度を他との比較によって、読解過程を確認、修正する機会を与える点で効果的であった。

③ Post-reading 活動から……KWL-

sheetの記入では、検証授業 2 までに、全員が

自分の知りたいことに答えられた。スキーマを活性化させ、読む内容を予測し、自分なりの仮説を立てて読んでいたことが考えられる。

